

魂の巻

青森県立三沢高等学校
第3学年進路通信 第6号
平成30年12月7日発行

【トピック③】 私立大の志望動向

第1回ベネッセ・駿台マーク模試のデータ分析による

【私立大志願者は増加傾向にあり！】

- 入学定員の厳格化を懸念して
 - WEB出願や併願割引の増加
 - 国立大の募集〔一般〕の減少
- ⇒ これらの影響により、私立大志願者は近年増加し続けている！！

【入学定員の厳格化が進む！】

2015年7月、文部科学省から私立大の入学定員超過率に応じた補助金の減額および不交付措置の基準改正の通知が各大学に出された。

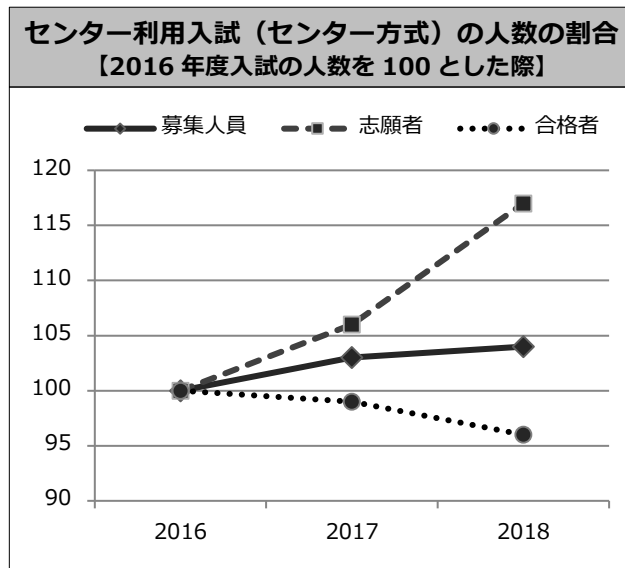
収容定員4,000人以上の中・大規模大学を主な対象としており、段階的に厳格化が進められてきた。今年度の入試でも、厳しい入試が続くと予想される。

※東北では東北学院大学・東北福祉大学が対象

私学助成が不交付となる入学定員充足率		
収容人数	4000人以上 8000人未満	8000人以上
2015年度	1.3倍以上	1.2倍以上
2016年度	1.27倍以上	1.17倍以上
2017年度	1.24倍以上	1.14倍以上
2018年度	1.2倍以上	1.10倍以上

【センター利用は志願者増・合格者減！】

- 3年間の私立大学の募集人員・志願者数・合格者数の推移は右図の通り。志願者数は募集人員増を大きく上回るペースで増えている。
- センター利用入試は、志願者数の伸びが大きい一方、合格者の絞り込みが顕著だった。
- 「MARCH」の中では、明治大学と法政大学の合格者数が大きく減少し、法政大学にいたっては、一般+センター方式での合格者が4000人近く減少した。



【難関大を敬遠するため、首都圏の私大が難化！】

昨年度の難関私立大入試が難化したことから、今年度の志望者数の対前年指数を見ると、「早慶上智」は91、「MARCH」は89となっており、このレベルの大学を敬遠していると分析できる。

「日東駒専」91となっているが、日本大を除く、東洋大・駒澤大・専修大の3大学の指数は103と増加しているため、幅広い難易度の大学を視野に入れて志望校を検討していこう！！

私立大（首都圏）の方式別志望者指数	
私立大	対前年
早慶上智	91
MARCH	89
日東駒専	91
大東亜帝国	107

※数値は前年度の志望者数を100とした際の指数。
※MARCH：明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大
※日東駒専：日本大・東洋大・駒澤大・専修大
※大東亜帝国：大東文化大・東海大・亜細亜大・帝京大・国土館大